

臨床医学研究のお知らせ

板橋中央総合病院では、将来の医療を向上させるため下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを望まない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名	エコー下による静脈路確保による患者苦痛の軽減
研究責任者	板橋中央総合病院 C館3階病棟 須藤歩
研究の対象	2025年4月1日～2026年3月31日までの当院C3病棟入院患者さま
研究の目的	本研究では、入院中の患者さまに対して行われる静脈路確保（点滴のための針の挿入）に関して、安全で苦痛の少ない方法を探ることを目的としています。 静脈路確保は、看護師が日常的に行う重要な医療行為ですが、患者さまの体格や栄養状態、血管の状態、看護師の経験などによって、成功のしやすさが異なります。穿刺（針を刺すこと）の回数が多くなると、患者さまにとって大きな負担となるため、できるだけ一度で確実に静脈を確保することが望まれます。 近年では、エコー（超音波装置）を使って血管を確認しながら静脈路を確保する方法が広がりつつあります。私たちの病棟でも、看護師がエコーを活用する取り組みを始めています。本研究では、エコーを使用した静脈路確保が、穿刺回数の削減や使用する器具の本数の減少にどのように影響するかを調べます。
研究の方法	本研究では、通常の診療の一環として行われた静脈路確保について、以下の情報を匿名化したうえで収集・分析します。 ・ 年齢、身長、体重、MNA-SF（栄養評価）などの基本情報 ・ 静脈路確保の回数、および使用した針（サーフロ）の本数 ・ エコーを使用した場合と使用しなかった場合の比較 ・ 看護師を対象としたエコー使用に関する勉強会の実施状況 これらの情報をもとに、エコーの使用が穿刺回数や使用本数に与える影響を分析します。
研究期間	承認後～2026年3月31日
研究に用いる試料・情報等	患者背景（年齢、性別、身長、体重、MNA-SF等栄養状態） 静脈路確保の回数、および使用した針（サーフロ）の本数
個人情報の取り扱い	個人情報につきましては厳重に管理を行います。利用する情報から患者さまを特定できるような内容は削除します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も個人を特定できる個人情報は使用いたしません。
お問合せ先	板橋中央総合病院 C館3階病棟 須藤歩 電話番号：03-3967-1181